

1. 出題方針

中学に入学すると、「算数」は「数学」の授業に名称が変わります。中学の数学の授業では代数（計算分野）と幾何（図形分野）に分かれますが、いずれも算数で学ぶ計算力がその土台となってきます。この入試は、計算力を中心に小学校で学んだ基礎的な力が身につけているかを確認します。

2. 問題構成・配点・時間

試験時間は30分20問、100点満点です。問題は次の大問2題で構成されています。

【1】 計算

- (1)～(4) 整数の四則混合計算
- (5)～(8) 工夫をする計算問題
- (9)～(12) 小数や分数を含む計算

【2】 穴埋め

- (1)～(4) 逆算の問題
- (5)～(8) 単位換算や比、速さに関する問題など

昨年度と出題傾向は大きく変わりません。配点は基本的に1問5点となります。

3. アドバイス

まずは、過去問題を繰り返し解いて練習をすることで自分の得意な分野や苦手な分野をしっかりと確認しましょう。

途中式を答える問題はありませんが、計算を丁寧にすることを心掛けましょう。特に、日頃から数字や式、小数点などの記号を丁寧に書く習慣をつけておいてください。

1. 出題方針

海外生活という貴重な体験をした受験生に対して、総合的な国語的能力を評価する。

2. 採点基準（観点）

- ① 課題の理解……課題を理解して書いているかをみる。
- ② 素材や内容……書くための素材は適切で、内容に説得力があるかをみる。
- ③ 発想や思考……独自の視点や内容の深まりがあるかをみる。
- ④ 文章の構成……段落の内容や段落同士の展開、つながりが適切であるかをみる。
- ⑤ 表記や表現……表現が正確で読みやすいか、日本語の運用能力をみる。

以上の5つの観点で評価、採点する。

3. 問題構成・配点・時間

- ① 問題構成……日本語の課題作文 一題
- ② 配点……100点
- ③ 時間……50分

1. 出題方針

帰国生入試では、海外生活や様々な環境で育った皆さんに、英語で自分の考え、意見や思いを豊かに表現しながら伝えていただきます。

2. 採点基準（観点）問題構成・配点・時間

【英語作文】 Topic（課題）は2つ。50点満点。30分。

①Content（内容）	生活に関わる様々な問題に関心があるかをみる。課題を理解し、論理的に説得力のある具体例や理由を挙げているか。さらに自分の考えを展開させながら述べる力があるかをみる。
②Vocabulary（語彙・表現）	語彙や表現が的確に、豊かに使えるかをみる。
③Structure（構成）	筋道立ててわかりやすく書けているかをみる。
④Grammar（文法）	文の構造や基本的なルールに従って書けるかをみる。
⑤Length（長さ）	80ワード以上で書けているかをみる。

【スピーキング】 自己紹介や story telling、絵の説明やテーマについての意見など、4つのセクションからの問題構成。50点満点。15分。

①Content（内容）	質問を理解しているかをみる。想像力を働かせながら、情報を多く発信し、自分の考えを英語で積極的に伝えられるかをみる。
②Fluency（流暢さ）	豊かな表現で、なめらかに英語を使いこなせる度合いをみる。

【英語作文】と【スピーキング】を合わせて100点満点

3. アドバイス

英語作文は、英語検定準2級～2級レベルのライティング課題を参考にしながら、練習してみましょう。スピーキングでは緊張せずに面接官の先生とお話を楽しむような気持ちで臨んでください。